

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	河川改良事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		1.災害に対する備えができています								
	実行計画名		1-3.水施策の推進								
1. 事務事業の概要											
種類	市民サービス			特性	選択的事业			区分	一般事務事業		
事業期間	2015(H27)年度			年度	~	年度まで					
根拠法令等	河川法										
関係補助金名称							サンセット	-			
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	準用河川に隣接・近接する土地に居住する市民・事業者等									
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題	準用河川に隣接・近接する土地に居住する市民・事業者等の生命や財産が守れるように必要な河道改修や護岸工事などの河川整備を求められる。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	台風・豪雨などの自然災害に対する被害の抑制・軽減により、準用河川に隣接・近接する土地に居住する市民・事業者等が安全・安心して生活を送ることができる。										
事業概要	枚方市が管理する準用河川の現況能力と課題を把握するため、枚方市準用河川整備基本計画を策定し、計画的に河道改修や護岸工事などの整備事業を推進することで、自然災害に強い河川環境の保全を図る。										

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		準用河川整備が進むにつれて、段階的に隣接・近接する土地に居住する市民・事業者等が安心して生活を送ることができる。				計画通りに準用河川整備を進めることができる。				準用河川整備を実施。			
指標設定	指標説明	準用河川整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の準用河川整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の準用河川整備延長距離に対する実績延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画の準用河川整備延長距離×100】				各年度における計画の準用河川整備延長距離 ※事業展開検討中は「0」と表記			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実績	0	0			0	0			0	0		
	達成度	0%				0%				0%			
分析	枚方市準用河川整備基本計画に基づき今後の事業展開について検討が必要。				枚方市準用河川整備基本計画に基づき今後の事業展開について検討が必要。				枚方市準用河川整備基本計画に基づき今後の事業展開について検討が必要。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,207	5,184	0		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	3,207	5,184	0		
	物件費計	0	10,340	0	0	—
	歳出計	3,207	15,524	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	3,207	10,340	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	R2年度に実施した枚方市準用河川整備基本計画策定業務委託の結果を部内で共有し、今後の事業展開について検討が必要。(R2年度より継続中)
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	安全確保の観点からの緊急性や整備基本計画に基づいた実行性、健全な財政運営を見込んだ中長期の整備計画に基づく計画性などの視点により財政状況も踏まえた上で総合的に判断し、整備順序や事業化の時期を検討していく。(R2年度より継続中)



3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.45
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配直をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	-	3,536		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	0		
	特別職非常勤	-	-	0		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	3,536		
	物件費計	-	-	60,016	140,000	43%
	歳出計	-	-	63,552		
歳入	国庫支出金	-	-	12,980	28,020	
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	0	0	
	市債	-	-	11,100	0	
	その他	-	-	0	0	
	歳入計	-	-	24,080	28,020	
	一般財源	-	-	35,936	111,980	

5. 総括的分析

総括的分析 防災上、道路ネットワーク上において重要な路線と位置付ける141橋梁について、枚方市橋梁長寿命化計画に基づき、予防保全並びに維持管理費の縮減と平準化を図るため、構造物の劣化補修並びに耐震基準に基づく修繕補強工事を行っている。令和3年度は、6橋の修繕補強工事を実施した。本事業は、国の交付金を活用して実施しており、今後も枚方市橋梁長寿命化計画に基づき修繕補強工事を実施していく。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	計画予定修繕橋梁を実施できるように、今後も交付金の活用を積極的に行い修繕補強工事を行う。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称														主要道路リフレッシュ整備事業			
測定年度		2021(R3)年度				部		土木部				課		道路河川整備課			
市長公約との関係		所信表明		○		市政運営方針		R2		R3		R4					
総合計画体系		基本目標				1.安全で、利便性の高いまち											
		施策目標				4.安全で快適な交通環境が整うまち											
		実行計画名															
1. 事務事業の概要																	
種類		市民サービス				特性		選択的事业				区分		一般事務事業			
事業期間		2005(H17)年度				年度		~				年度まで					
根拠法令等		社会資本整備重点計画法															
関係補助金名称		社会資本整備総合交付金								サンセット							
関係附属機関名称																	
事業対象		メインターゲット		市内の主要幹線道路を利用する市民すべて。													
		サブターゲット		市内の主要幹線道路を利用する事業者すべて。													
		ターゲットが抱える課題		市内主要幹線道路は交通量も多く、道路を通行する利用者が円滑かつ安全に通行できないと人の交流及び物流が滞り、事故も増える。													
		ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進み、事故も減っている状態。															
事業概要		開通時からの利用状況の変化に舗装構造が合わなくなった主要幹線道路の12路線に対して、地盤等の調査結果を基に、現在の利用状況にあった舗装構成に改築及び更新(リフレッシュ整備)を行う。															
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
						計画的に整備延長を修繕できている。				市内の主要幹線道路12路線のうち、路面損傷や支持力等の調査の上、リフレッシュ整備を行う。							
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		指標説明		計画予定延長のうち、整備延長の割合 【算出式: 整備延長/計画予定延長×100】				主要路線の整備延長									
		指標種類		単位				単位				単位					
		指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5					
		達成度						45%				68%					
		分析						国の交付金の内示率が低かったため、目標に比べ整備延長の割合が伸びなかった。				国の交付金の内示率が低かったため、目標に比べ整備延長の割合が伸びなかった。					
				単位				単位				単位					
		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5							
		38 38 38 38				1,090 1,090 1,100 1,100											
		18 17				200 740											

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.46
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	14,030	8,374	3,614		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	14,030	8,374	3,614		
	物件費計	186,353	99,198	118,865	291,200	41%
	歳出計	200,383	107,572	122,479		
歳入	国庫支出金	72,881	37,600	48,554	111,054	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	59,700	64,400	174,900	
	その他	4,000	0	0	0	
	歳入計	76,881	97,300	112,954	285,954	
	一般財源	123,502	1,898	5,911	5,246	

5. 総括的分析

総括的分析	安全で快適な道路環境の確保を図るため、主要幹線道路や都市計画道路など12路線の路面の補修等を行うリフレッシュ整備を計画的に推進している。令和3年度は、中宮津田線・牧野長尾線・枚方藤阪線の3路線の舗装修繕工事を実施した。本事業は、国の交付金を活用して実施しており、令和3年度は交付金の内示率が低かったため、予算の執行率は41%とどまり、これに伴って整備延長も目標値を下回った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	計画予定延長を実施できるように、今後も交付金(加速化対策)の活用を積極的に行い整備を行う。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	長尾杉線整備事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部				課	道路河川整備課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標				1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標				4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名				4-1.道路などの整備の推進									
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス				特性	選択的事业				区分	一般事務事業			
事業期間	2014(H26)年度				年度	~			年度まで					
根拠法令等	都市計画法													
関係補助金名称												サンセット	-	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		東部地域の国道307号、国道1号バイパス及びその周辺道路を利用する利用者。											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		国道307号、国道1号バイパスに交通渋滞が発生しており、防災機能が損なわれている。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	国道307号、国道1号バイパスの交通渋滞が解消され、第二京阪道路へのアクセス道路として、地域住民の利便性や防災機能が向上されている。													
事業概要	<p>【～平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(都)牧野長尾線・長尾東町地内と国道307号((都)枚方東部線)・杉責谷地内を結ぶ東部地域の幹線道路として延長約1.7km、幅員14m及び17mの都市計画道路として整備を検討する。</li> <li>・交通量調査や将来の道路ネットワークを検証して、予測交通量を算定するとともに、その結果をもとに道路の規模やルート選定を行い、整備計画を作成する。また、費用対効果を算定した上で都市計画道路としての整備を検討する。</li> </ul> <p>【平成29年度～】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(都)牧野長尾線から国道307号まで(L=1,750m、W=14、16m)の都市計画道路整備を行う。</li> </ul>													

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
					計画通りに長尾杉線の整備を進めることが出来る。				長尾杉線の整備を実施する。				
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	指標説明		単位		単位		%		単位		m		
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標(見込み)				18	40	60	100	437.50	437	437	438
	実績					1	11.89			60	148		
達成度				30%				34%					
分析						関係機関協議や軟弱地盤対策等の検討及び対策工事に時間を要しR4年度に繰越となったため、目標値に達しなかった。				関係機関協議や軟弱地盤対策等の検討及び対策工事に時間を要しR4年度に繰越となったため、目標値に達しなかった。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.27
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,113	8,454	9,978		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	429	80		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	7,113	8,883	10,058		
	物件費計	292,939	185,000	528,463	1,107,000	48%
	歳出計	300,052	193,883	538,521		
歳入	国庫支出金	99,620	61,218	225,702	312,952	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	177,300	102,600	256,100	694,700	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	276,920	163,818	481,802	1,007,652	
	一般財源	23,132	21,182	46,661	99,348	

5. 総括的分析

総括的分析	R3年度は目標延長437mに対し施工延長740mで工事発注。実績は関係機関との協議や軟弱地盤の影響により対策検討及び工事に時間を要したため、年度出来高延長として148mであり、目標値に達しなかった。(R4年度に繰越)
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、R3年度繰越工事を実施するとともに、R4年度も計画的に道路整備工事を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	御殿山小倉線整備事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名		4-1.道路などの整備の推進								
1. 事務事業の概要											
種類	市民サービス			特性	選択的事业			区分	一般事務事業		
事業期間	2014(H26)年度			年度	~	年度まで					
根拠法令等	都市計画法										
関係補助金名称							サンセット				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		中部地域の京阪御殿山駅から小倉東町地区までの周辺道路を利用する利用者。								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		地域周辺道路では、地域住民・通学者の通行が多いことや、また通過交通が非常に多く狭小な道路でもあるため、安全確保が必要である。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	中部地域の交通網の強化が図られ、安全な交通環境として通学路が確保されている。										
事業概要	・市道渚星ヶ丘線から市道甲斐田三栗線まで(L=840m、W=14m)の都市計画道路整備を行う。										

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						計画通りに御殿山小倉線の整備を進めることが出来る。				御殿山小倉線の整備を実施。				
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				御殿山小倉線整備事業全体の進捗率				御殿山小倉線の整備延長距離					
	単位				単位				単位					
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績						17	34	50	68	210	210	210	210
達成度						13%				26%				
分析						地中埋設物の撤去や軟弱地盤対策等の検討及び対策工事に時間を要しR4年度に繰越となったため、目標値に達しなかった。				地中埋設物の撤去や軟弱地盤対策等の検討及び対策工事に時間を要しR4年度に繰越となったため、目標値に達しなかった。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.89
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,109	5,583	6,993		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	80		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	5,109	5,583	7,073		
	物件費計	145,542	173,681	73,390	131,000	56%
	歳出計	150,651	179,264	15,463		
歳入	国庫支出金	2,000	6,950	22,280	55,200	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	103,400	142,400	50,500	57,600	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	105,400	149,350	72,780	112,800	
	一般財源	45,251	24,331	610	18,200	

5. 総括的分析

総括的分析 R3年度は目標延長210mに対し施工延長278mで工事発注。  
 実績は掘削時に確認された地中埋設物の撤去や軟弱地盤の影響により対策検討及び工事に時間を要したため、年度出来高延長として55.60mであり、目標値に達しなかった。(R4年度に繰越)

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、R3年度繰越工事を実施するとともに、R4年度も計画的に道路整備工事を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称													春日大峯線道路拡幅事業			
測定年度		2021(R3)年度				部		土木部				課		道路河川整備課		
市長公約との関係		所信表明		○		市政運営方針		R2		R3		R4				
総合計画体系		基本目標				1.安全で、利便性の高いまち										
		施策目標				4.安全で快適な交通環境が整うまち										
		実行計画名														
1. 事務事業の概要																
種類		市民サービス				特性		選択的事业				区分		一般事務事業		
事業期間		2018(H30)年度				年度		~						年度まで		
根拠法令等		決裁														
関係補助金名称		サンセット														
関係附属機関名称																
事業対象		メインターゲット		市道春日大峯線を利用する市民・事業者等												
		サブターゲット		-												
		ターゲットが抱える課題		市道春日大峯線は交通量が多い一方で幅員が狭小であり、円滑な交通の流れとなっていない。												
		ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		市道春日大峯線を利用する市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。														
事業概要		<p>市道春日大峯線の拡幅整備事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 計画の道路拡幅整備延長距離の合計:L=120m</li> <li>◇ 実績延長距離の合計:L=48m</li> <li>◇ 各年度における計画の道路拡幅整備延長距離:各年度未定</li> </ul>														
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
		道路拡幅整備が進むにつれて、段階的に利用する市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				計画通りに道路拡幅整備を進めることが出来る。				道路拡幅整備を実施。						
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
		指標説明		道路拡幅整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の道路拡幅整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の道路拡幅整備延長距離に対する実績延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画の道路拡幅整備延長距離×100】				各年度における計画の道路拡幅整備延長距離				
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
		指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				
		目標(見込み)		40 40 40 40				0 0 0 0				0 0 0 0				
		実績		0 0				0 0				0 0				
		達成度		0%				0%				0%				
分析		事業内容に応じた財源(国費)の確保が困難であったため、事業を進められなかった。				事業内容に応じた財源(国費)の確保が困難であったため、事業を進められなかった。				事業内容に応じた財源(国費)の確保が困難であったため、事業を進められなかった。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,291	0	0		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	5,291	0	0		
	物件費計	6,612	0	0	0	—
	歳出計	11,903	0	0		
歳入	国庫支出金	1,492	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	3,500	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	4,992	0	0	0	
	一般財源	6,911	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析 今後の事業展開について検討が必要である。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	地域の意向や財政状況等を勘案し、事業の着手(再開)時期を検討していく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称													中振交野線整備事業								
測定年度		2021(R3)年度			部		土木部			課		道路河川整備課									
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4											
総合計画体系		基本目標		1.安全で、利便性の高いまち																	
		施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち																	
		実行計画名		4-1.道路などの整備の推進																	
1. 事務事業の概要																					
種類		市民サービス			特性		選択的事业			区分		一般事務事業									
事業期間		2015(H27)年度			年度		~				年度まで										
根拠法令等		都市計画法																			
関係補助金名称					サンセット																
関係附属機関名称																					
事業対象		メインターゲット		南部地域の府道八尾枚方線及び市道周辺(狭小な道路)を利用する利用者。																	
		サブターゲット																			
		ターゲットが抱える課題		地域周辺道路では、地域住民・通学者の通行が多いことや、また通過交通が非常に多く狭小な道路でもあるため、安全確保が必要である。																	
		ターゲットが抱える課題																			
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		京阪本線連続立体交差と連携した南部地域の交通網の強化を図り、通学路の確保や地域住民の利便性と防災機能が向上される。																			
事業概要		府道八尾枚方線から市道南中振21号線及び市管理道路まで(L=600m、W=16m)の都市計画道路整備を行う。 (・開発公社長期保有地があり、買戻しを進めると共に取得済用地の適正な管理を行う。)																			
2. ロジックモデル及び指標設定																					
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)											
						計画通りに中振交野線の整備を進めることが出来る。				中振交野線の整備を実施。											
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)											
		指標説明				中振交野線整備事業全体の進捗率				中振交野線の整備延長距離											
				単位		単位		%		単位		m									
		指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標											
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5			
				目標(見込み)				65		70		70		70		120		70		20	
		実績				61.67		64						140		14					
達成度						91%				20%											
分析						関係機関協議や軟弱地盤対策等の検討及び対策工事に時間を要しR4年度に繰越となったため、目標値に達しなかった。				関係機関協議や軟弱地盤対策等の検討及び対策工事に時間を要しR4年度に繰越となったため、目標値に達しなかった。											

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.42
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,311	7,178	11,157		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	80		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,311	7,178	11,237		
	物件費計	170,332	139,442	91,764	52,934	173%
	歳出計	176,643	146,620	33,262		
歳入	国庫支出金	11,161	11,666	8,095	10,560	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	129,400	105,400	12,400	40,800	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	140,561	117,066	20,495	51,360	
	一般財源	36,082	22,376	71,269	1,574	

5. 総括的分析

総括的分析	R3年度は目標延長70mに対し施工延長70mで工事発注。 実績は関係機関協議や軟弱地盤の影響により対策検討及び工事に時間を要したため、年度出来高延長として14mであり、目標値に達しなかった。 (R4年度に繰越)
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、R3年度繰越工事を実施するとともに、R4年度も計画的に道路整備工事を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称														道路改良整備事業													
測定年度				2021(R3)年度				部		土木部				課		道路河川整備課											
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4																	
総合計画体系		基本目標		1.安全で、利便性の高いまち																							
		施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち																							
		実行計画名																									
1. 事務事業の概要																											
種類		市民サービス				特性				選択的事業				区分		一般事務事業											
事業期間		不明				年度		~		年度まで																	
根拠法令等		決裁																									
関係補助金名称		サンセット																									
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		法定外公共物や橋梁などの道路構造物を利用する利用者。																							
		サブターゲット																									
		ターゲットが抱える課題		災害等による損傷した道路構造物については安全確保が必要である。																							
		ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		損傷した道路構造物を補修することで、安全で安心な道路構造物を維持できている。																									
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>法定外公共物(里道)の改良工事を行う。</li> <li>市道の維持補修工事に該当しない道路改良工事を行う。</li> <li>道路構造物(橋梁等)の補強工事を行う。</li> </ul>																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
		損傷した道路構造物を補修することで、安全で安心な道路構造物を維持できている。				各年度において、計画通りに損傷した道路構造物を補修を行う。				損傷した道路構造物を補修する。																	
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
		指標説明		補修を行った道路構造物に対して市民が安全安心に利用できていると感じている割合【算出式: 要望者などに対し聞き取りを行い、「以前より改善された」と回答した人数/聞き取り回答者数×100】				各年度における補修対象となる整備への対応率【算出式: 対応件数/補修対象件数×100】				補修件数(これまで事例をもとにした年間予想件数)															
		指標種類		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標															
		指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5															
		達成度		100%				100%				100%															
		分析		想定通りであった。				想定通りであった。				想定通りであった。															
				単位 %				単位 %				単位 件															

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.71
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,886	1,994	5,578		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	80		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,886	1,994	5,658		
	物件費計	20,310	18,563	18,302	11,862	154%
	歳出計	23,196	20,557	23,960		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	23,196	18,563	18,302	11,862	

5. 総括的分析

総括的分析 指標の達成度は想定通りであった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、当課が所管する道路構造物の適正な維持管理を図るため、計画的に補修などを実施していく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	牧野長尾線整備事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名		4-1.道路などの整備の推進								
1. 事務事業の概要											
種類	市民サービス			特性	選択的事业			区分	一般事務事業		
事業期間	1994(H6)年度			年度	~				年度まで		
根拠法令等	都市計画法										
関係補助金名称							サンゼット				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		市域北部の府道 高槻茨木線、JR長尾駅周辺を利用する利用者。								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		府道 高槻茨木線、JR長尾駅周辺に交通渋滞が発生している。また、住宅地内に狭小な道路も多くあり安全確保が必要である。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	府道 高槻茨木線、JR長尾駅周辺の交通渋滞が緩和され、地域住民の利便性と防災機能の向上や通学路が確保されている。										
事業概要	・八田川バイパスから府道枚方高槻線まで(L=1,450m、W=16m)の都市計画道路整備を行う。										

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						計画通りに牧野長尾線の整備を進めることが出来る。				牧野長尾線の整備を実施。			
指標設定	指標説明					牧野長尾線整備事業全体の進捗率				牧野長尾線の整備延長距離			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					17	21	58	58	200	0	350	0
	実績					37.24	53.52			0	171		
	達成度					255%				0%			
分析					R2-R3年度の債務負担による工事の実績延長が加算されたため目標値を上回った。				R2-R3年度の債務負担による工事の実績延長が加算されたため目標値を上回った。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.46
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,117	8,055	11,471		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	80		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	9,117	8,055	11,551		
	物件費計	426,139	760,401	270,698	284,331	95%
	歳出計	435,256	768,456	272,049		
歳入	国庫支出金	88,543	97,717	79,999	87,499	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	284,600	590,600	147,300	206,300	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	373,143	688,317	227,299	293,799	
	一般財源	62,113	72,084	43,399	▲ 9,468	

5. 総括的分析

総括的分析	R3年度は過年度に整備した道路の舗装工事を計画していたため、道路築造を目的とする目標延長は0m。実績はR2年度からR3年度の債務負担における道路築造の年度出来高延長として171mが計上されたため、目標値を上回った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、R3年度繰越工事を実施するとともに、R4年度も計画的に道路整備工事を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方藤阪線整備事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1981(S56)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	都市計画法				
関係補助金名称				サンセット	-
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市域中心部と東部地域を結ぶ幹線道路周辺を利用する利用者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	国道307号、府道杉田口禁野線の交通量が多く渋滞も発生しているため、防災機能が損なわれているため安全確保が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	国道307号、府道杉田口禁野線の交通網の強化を図り、地域住民の利便性や防災機能が向上されている。				
事業概要	・枚方市駅から府道田口禁野線まで(L=398.5m、W=16~27m)、及び府道杉田口線から国道307号まで(L=4,075.0m、W=12.5~27m)の都市計画道路整備を行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						計画通りに枚方藤阪線の整備を進めることが出来る。				枚方藤阪線の整備を実施する。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明				枚方藤阪線整備事業全体の進捗率				枚方藤阪線の整備延長距離				
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	単位				単位				単位			
		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度					0%				0%			
分析					道路用地取得に向け地権者と交渉・継続中				道路用地取得に向け地権者と交渉・継続中				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,287	1,196	0		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	3,287	1,196	0		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	3,287	1,196	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	3,287	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	道路用地取得に向け地権者と交渉・継続中
-------	---------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、道路用地取得に向け地権者と協議し交渉を進めるとともに、道路用地取得後に道路整備工事を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	樟葉駅前ロータリー改良事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名		4-1.道路などの整備の推進								
1. 事務事業の概要											
種類	市民サービス			特性	選択的事业			区分	一般事務事業		
事業期間	2018(H30)年度			年度	~	年度まで					
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称							サンセット				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	樟葉駅前広場ロータリーを利用する市民・路線バス事業者・利用者等									
	サブターゲット	-									
	ターゲットが抱える課題	樟葉駅前広場ロータリー内の交通混雑により路線バスの定時性や利用者の安全性が損なわれている。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	樟葉駅前広場ロータリー内の公共交通環境の整備により、路線バスの定時性や利用者の安全性が確保されるとともに、樟葉駅への交通機能アクセスの快適性や利便性の向上により、本市北部地域における交通結節点としての機能が向上している。										
事業概要	樟葉駅前広場ロータリー内では、朝夕の通勤・通学時間帯を中心に交通混雑が慢性化し、路線バスの定時性や利用者の安全性が損なわれるなどの交通問題が生じている。 本事業では、当該ロータリーの現地調査を踏まえた基本設計や実施設計により効果的・効率的な改善策を検討し、公共交通環境の整備を実施することで北部地域における交通結節点としての機能の向上を図る。										

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	樟葉駅前広場ロータリー内の公共交通環境の整備により、段階的に路線バスの定時性や利用者の安全性が確保されるとともに、樟葉駅への交通機能アクセスの快適性や利便性の向上により、本市北部地域における交通結節点としての機能が向上している。				アウトプット(活動結果)	計画どおりに樟葉駅前広場ロータリー改良工事を進めることができる。				インプット(活動)	樟葉駅前広場ロータリー改良工事を実施。			
	指標説明	樟葉駅前ロータリー改良工事事業全体の進捗率 【算出式:実績面積の合計/計画の樟葉駅前広場ロータリー改良工事面積の合計×100】				各年度における計画の樟葉駅前広場ロータリー改良工事面積に対する実績面積の割合 【算出式:実績面積/各年度における計画の樟葉駅前広場ロータリー改良工事面積×100】				各年度における計画の樟葉駅前広場ロータリー改良工事面積					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	日標(見込み)	22	51	100		100	100	100		1,900	2,500	4,100			
	実績	0	100			0	340			0	8,500				
達成度	196%				340%				340%						
分析	交通事業者と密に連携を図り、効率的・効果的に工事を進め、また、財源確保もできたため、想定よりも早く事業を完了することができた。				交通事業者と密に連携を図り、効率的・効果的に工事を進め、また、財源確保もできたため、想定よりも早く事業を完了することができた。				交通事業者と密に連携を図り、効率的・効果的に工事を進め、また、財源確保もできたため、想定よりも早く事業を完了することができた。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.57
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,009	6,380	4,478		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	429	80		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	4,009	6,809	4,558		
	物件費計	15,210	27,610	118,350	73,961	160%
	歳出計	19,219	34,419	122,908		
歳入	国庫支出金	7,800	12,897	18,771	18,771	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	5,700	13,100	13,800	49,600	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	13,500	25,997	32,571	68,371
	一般財源	5,719	1,613	85,779	5,590	

5. 総括的分析

総括的分析	R2年度は交通事業者との工程調整等の影響で工事着手が遅れたが、R3年度は密に連携を図り、効率的・効果的に工事を進めることができた。また、財源確保もできたため、想定よりも1年早く事業を完了することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取組方針	R3年度に事業が完了した。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称														枚方市駅周辺再整備事業			
測定年度		2021(R3)年度				部		土木部				課		道路河川整備課			
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4							
総合計画体系		基本目標		1.安全で、利便性の高いまち													
		施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち													
		実行計画名															
1. 事務事業の概要																	
種類		市民サービス				特性		選択的事业				区分		一般事務事業			
事業期間		2018(H30)年度				年度		~				年度まで					
根拠法令等		決裁															
関係補助金名称		サンセット															
関係附属機関名称																	
事業対象		メインターゲット		枚方市駅周辺の商業施設及び交通機関を利用する利用者。													
		サブターゲット		南部地域の交通網の強化を図り、通学路の確保や地域住民の利便性と防災機能が向上される。													
		ターゲットが抱える課題		枚方市駅北口周辺の交通渋滞が発生しており、また医療機関への通院者、通学者等も多く通行しているため、安全確保が必要である。													
		ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		枚方市駅周辺再整備ビジョンにもとづき外周道路の整備、歩行者動線の整備により、安全な歩行空間が確保でき、渋滞が解消している。															
事業概要		【平成28年度~】 枚方市駅周辺再整備ビジョン対象エリアの土地利用や事業手法等の検討を行い、これらと並行して地元検討組織等の設立に向けた支援や関係権利者等との意見交換を行った。また、枚方市駅北口・南口駅前広場の拡充、外周道路の整備、歩行者動線の整備についての概略検討を実施。 これらの検討をもとに順次、歩行者動線の整備、エスカレーター設置、外周道路の整備、京阪枚方市駅の高架下利用に取り組む。															
		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 計画の枚方市駅周辺再整備延長距離の合計:L=385m <ul style="list-style-type: none"> <li>・エスカレーター設置:L=15m</li> <li>・歩行者導線の整備:L=160m</li> <li>・外周道路の整備:L=140m</li> <li>・京阪枚方市駅の高架下利用:L=70m</li> </ul> </li> <li>◇ 実績延長距離の合計:L=15m</li> <li>◇ 各年度における計画の枚方市駅周辺再整備延長距離 <ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度:0m</li> <li>・R4年度:150m(高架下:L=70m、歩行者導線整備:L=80m)</li> <li>・R5年度:120m(歩行者導線整備:L=80m、外周道路整備:L=40m)</li> <li>・R6年度:100m(外周道路整備:L=100m)</li> </ul> </li> </ul>															
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
		枚方市駅周辺再整備ビジョンにもとづき外周道路の整備、歩行者動線の整備が進むにつれて、段階的に安全な歩行空間が確保でき、渋滞が解消している。				「枚方市駅周辺再整備ビジョン」に基づき計画通りに再整備を実施する。				枚方市駅周辺の再整備を実施する。							
指標説明		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
		枚方市駅周辺再整備(所管分)全体の進捗率				各年度における計画の枚方市駅周辺再整備延長距離に対する実績延長距離の割合				各年度における計画の枚方市駅周辺再整備延長距離							
指標設定		指標種類		単位		%		単位		%		単位		m			
		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標			
		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		3.90		3.90		42.85		74.02		100		0		100		100	
実績		3.90		3.90				100		0		15		0			
達成度		100%				0%				0%							
分析		R3年度は次年度以降の整備に向けた詳細設計を実施した。				R3年度は次年度以降の整備に向けた詳細設計を実施した。				R3年度は次年度以降の整備に向けた詳細設計を実施した。							

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.67
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,688	3,748	5,264		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	80		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,688	3,748	5,344		
	物件費計	93,231	129,572	8,045	17,000	47%
	歳出計	96,919	133,320	13,389		
歳入	国庫支出金	0	0	2,000	2,000	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	42,900	84,200	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	42,900	84,200	2,000	2,000
	一般財源	54,019	45,372	6,045	15,000	

5. 総括的分析

総括的分析 R3年度は次年度以降の整備に向けた詳細設計を実施した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、財政状況等を勘案し、他事業との調整・連携を図りながら計画的に整備工事を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	北山通線整備事業											
測定年度	2021 (R3) 年度				部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名		4-1.道路などの整備の推進									
1. 事務事業の概要												
種類	市民サービス			特性	選択的事業			区分	一般事務事業			
事業期間	2020 (R2) 年度				年度	~	2023 (R5) 年度				年度まで	
根拠法令等	都市計画法											
関係補助金名称								サンセット				
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		北山通線周辺道路を利用する利用者。									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		新名神高速道路の開通により、通過交通の増加が予想されている。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	通過交通を円滑にアクセスさせることで渋滞を緩和させ、効率的な物流ネットワークを形成できている。											
事業概要	<p>本路線は、枚方市の北道部地域を南北に連絡し、都市計画道路内里高野道線及び令和5年開通予定の新名神高速道路への重要な幹線道路である。この中で大阪府が主体となって進めている内里高野道線整備と連携して整備を行うことで、自動車交通を円滑にアクセスでき、また、他府県との地域レベルの交流を強化することで物流ネットワークを形成することができる。</p> <p>【R2】 詳細設計 (L=0.12km , W=12~15m)</p> <p>【R3~R5】 整備工事3ヶ年 (L=0.12km , W=12~15m)</p>											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					計画通りに北山通線の整備を進めることが出来る。				北山通線の整備を実施する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				北山通線整備事業全体の進捗率				北山通線の整備延長距離					
	単位				単位 %				単位 m					
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績						0	33	66	100	0	40	40	40
達成度						24%				24%				
分析						軟弱地盤対策等の検討及び対策工事に時間を要しR4年度に繰越となったため、目標値に達しなかった。				軟弱地盤対策等の検討及び対策工事に時間を要しR4年度に繰越となったため、目標値に達しなかった。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.57
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	3,589	4,478		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	80		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	3,589	4,558		
	物件費計	—	3,120	61,887	130,000	48%
	歳出計	—	6,709	66,445		
歳入	国庫支出金	—	3,120	24,810	29,220	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	27,300	92,400	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	3,120	52,110	121,620	
	一般財源	—	0	9,777	8,380	

5. 総括的分析

総括的分析	R3年度は目標延長40mに対し施工延長48mで工事発注。 実績は掘削時に確認された軟弱地盤の影響により対策検討及び工事に時間を要したため、年度出来高延長として9.6mであり、目標値に達しなかった。(R4年度に繰越)
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、R3年度繰越工事を実施するとともに、R4年度も計画的に道路整備工事を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称														交通バリアフリー道路整備事業													
測定年度				2021(R3)年度				部				土木部				課				道路河川整備課							
市長公約との関係		所信表明		○		市政運営方針		R2		R3		R4															
総合計画体系		基本目標				1.安全で、利便性の高いまち																					
		施策目標				4.安全で快適な交通環境が整うまち																					
		実行計画名				4-2.交通安全対策の充実																					
1. 事務事業の概要																											
種類				市民サービス				特性				選択的事業				区分				一般事務事業							
事業期間				2018(H30)年度				年度				~				年度まで											
根拠法令等				高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律																							
関係補助金名称				サンセット																							
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		鉄道駅及びその周辺における重点整備地区内の特定経路を利用する高齢者・障害者等																							
		サブターゲット		鉄道駅及びその周辺における重点整備地区内の特定経路を利用する市民・事業者等																							
		ターゲットが抱える課題		高齢者・障害者等が通行するにあたり、バリアフリー化が実現できていない歩道がある。																							
		ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		鉄道駅及びその周辺における重点整備地区内の特定経路を利用する高齢者・障害者等の誰もが安心して安全快適に利用できている。																									
事業概要		<p>高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく「枚方市バリアフリー基本構想」、「星ヶ丘・村野駅周辺地区バリアフリー基本構想」により策定した道路特定事業計画により、重点整備地区5地区の生活関連経路のうち市道に関するバリアフリー化(歩道段差解消、勾配改良、誘導ブロック設置等)の整備を図る。</p> <p>◇計画のバリアフリー道路整備延長距離の合計:L=2,570m(5重点整備地区)          ・御殿山駅周辺地区:L=1,010m、宮之阪駅周辺地区:L=540m、牧野駅周辺地区:L=570m、津田駅周辺地区:L=150m、星ヶ丘駅・村野駅周辺地区:L=300m</p> <p>◇実績延長距離の合計:L=520m          ・H30年度:200m、R1年度:130m、R2年度:190m</p> <p>◇各年度における計画のバリアフリー道路整備延長距離          ・R3、R4年度(債務設定):350m(R3:120m、R4:230m)          ・R5年度:290m</p>																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
				各重点整備地区のバリアフリー化が進むにつれて、段階的に鉄道駅及びその周辺における重点整備地区内の特定経路を利用する高齢者・障害者等の誰もが安心して安全快適に利用できている。				計画通りにバリアフリー道路整備を進めることが出来る。				バリアフリー道路整備を実施。															
指標説明				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
				バリアフリー道路整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画のバリアフリー道路整備延長距離の合計×100】				各年度における計画のバリアフリー道路整備延長距離に対する実績延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画のバリアフリー道路整備延長距離×100】				各年度における計画のバリアフリー道路整備延長距離															
指標種類		単位		%		単位		%		単位		m															
		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標																	
指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5											
		20		24.90		33.85		45.13		100		100		100		100											
達成度		20		24.90						100		100		190		120											
		100%				100%				100%																	
分析		想定通りであった。				想定通りであった。				想定通りであった。																	

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.38
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.02
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,895	6,380	2,986		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	53		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,895	6,380	3,039		
	物件費計	20,459	24,803	25,160	25,160	100%
	歳出計	27,354	31,183	28,199		
歳入	国庫支出金	9,332	5,000	5,193	5,193	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	6,800	13,400	3,800	17,900	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	16,132	18,400	8,993	23,093	
	一般財源	11,222	6,403	16,167	2,067	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度は想定通りであった。 【実績】宮之阪周辺地区：禁野第3号線(延長距離:L=530m)の整備工事(R3-R4債務負担)を実施中である。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、財政状況等を勘案し計画的にバリアフリー化整備事業を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	市道尊延寺穂谷線拡幅事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名										
1. 事務事業の概要											
種類	市民サービス			特性	選択的事业			区分	一般事務事業		
事業期間	2001(H13)年度			年度	~	年度まで					
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称							サンセット				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	市道尊延寺穂谷線を徒歩で小学校に通う児童									
	サブターゲット	市道尊延寺穂谷線を徒歩で利用する市民・事業者等									
	ターゲットが抱える課題	市道尊延寺穂谷線の幅員が狭い場所があり、通学路の安全確保ができていない。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市道尊延寺穂谷線を徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。										
事業概要	<p>子どもの安全確保に資するため通学路に加え未就学児の移動経路を含めた安全確保を図ることを目的に策定された枚方市子どもの交通安全プログラムに基づき、市道尊延寺穂谷線の拡幅整備事業を行い、通学路の安全確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 計画の道路拡幅整備延長距離の合計:L=290m</li> <li>◇ 実績延長距離の合計:L=133m</li> <li>◇ 各年度における計画の道路拡幅整備延長距離:各年度未定</li> </ul>										

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	道路拡幅整備が進むにつれて、段階的に徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				アウトプット(活動結果)	計画通りに道路拡幅整備を進めることが出来る。				インプット(活動)	道路拡幅整備を実施。			
	指標説明	道路拡幅整備事業全体の進捗率【算出式:実績延長距離の合計/計画の道路拡幅整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の道路拡幅整備延長距離に対する実績延長距離の割合【算出式:実績延長距離/各年度における計画の道路拡幅整備延長距離×100】				各年度における計画の道路拡幅整備延長距離					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	46	45.86	45.86	45.86	0	0	0	0	0	0	0	0		
	実績	0	0			0	0			0	0				
達成度	0%				0%				0%						
分析	道路用地の取得に向けた地権者との調整・協議が難航しているため事業を進められなかった。				道路用地の取得に向けた地権者との調整・協議が難航しているため事業を進められなかった。				道路用地の取得に向けた地権者との調整・協議が難航しているため事業を進められなかった。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	241	0	0		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	241	0	0		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	241	0	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	241	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析 今後の事業展開について検討が必要である。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	地権者の動向や財政状況等を勘案し、事業の着手(再開)時期を検討していく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	踏切道(交野・第一藤阪)拡幅事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	市道王仁公園前線を徒歩で小学校に通う児童
	サブターゲット	市道王仁公園前線を徒歩で利用する市民・事業者等
	ターゲットが抱える課題	市道王仁公園前線の歩道に狭い場所があり、通学路の安全確保ができていない。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市道王仁公園前線を徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。
-----------------------	---

事業概要	<p>子どもの安全確保に資するため通学路に加え未就学児の移動経路を含めた安全確保を図ることを目的に策定された枚方市子どもの交通安全プログラムに基づき、市道王仁公園前線(第一藤阪踏切)の歩道拡幅整備事業を行い、通学路の安全確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 計画の歩道拡幅整備延長距離の合計:L=56m</li> <li>◇ 実績延長距離の合計:L=35m</li> <li>◇ 各年度における計画の道路拡幅整備延長距離:各年度未定</li> </ul>
------	--

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	歩道拡幅整備が進むにつれて、段階的に徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。	計画通りに歩道拡幅整備を進めることが出来る。	歩道拡幅整備を実施。

指標設定	指標説明	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	指標種類	歩道拡幅整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の歩道拡幅整備延長距離の合計×100】	各年度における計画の歩道拡幅延長距離に対する実績延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画の歩道拡幅延長距離×100】	各年度における計画の歩道拡幅整備延長距離
	指標数値	単位 %	単位 %	単位 m
	達成度	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	分析	道路用地の取得に向けた地権者との調整・協議が難航しているため事業を進められなかった。	道路用地の取得に向けた地権者との調整・協議が難航しているため事業を進められなかった。	道路用地の取得に向けた地権者との調整・協議が難航しているため事業を進められなかった。
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5

ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	歩道拡幅整備が進むにつれて、段階的に徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。	踏切道(交野・第一藤阪)拡幅整備対象区画における、すべての用地を取得できる。	踏切道(交野・第一藤阪)拡幅整備に係る用地取得を実施。

指標設定②	指標説明	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	指標種類	歩道拡幅整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の歩道拡幅整備延長距離の合計×100】	歩道拡幅整備用地取得面積の合計に対する実績用地取得面積の合計の割合 【算出式:実績用地取得面積の合計/歩道拡幅整備用地取得面積の合計×100】	歩道拡幅整備用地取得面積
	指標数値	単位 %	単位 %	単位 m <sup>2</sup>
	達成度	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	分析	道路用地の取得に向けた地権者との調整・協議が難航しているため事業を進められなかった。	道路用地の取得に向けた地権者との調整・協議が難航しているため事業を進められなかった。	道路用地の取得に向けた地権者との調整・協議が難航しているため事業を進められなかった。
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	241	0	0		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	241	0	0		
	物件費計	0	0	0	0	—	
歳出計		241	0	0			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		241	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	今後の事業展開について検討が必要である。
-------	----------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	地権者の動向や財政状況等を勘案し、事業の着手(再開)時期を検討していく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称													自転車通行空間整備事業			
測定年度		2021(R3)年度			部		土木部			課		道路河川整備課				
市長公約との関係		所信表明		○		市政運営方針		R2		R3		R4				
総合計画体系		基本目標		1.安全で、利便性の高いまち												
		施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち												
		実行計画名		4-2.交通安全対策の充実												
1. 事務事業の概要																
種類		市民サービス			特性		選択的事业			区分		一般事務事業				
事業期間		2017(H29)年度			年度		~				年度まで					
根拠法令等		決裁														
関係補助金名称												サンセット				
関係附属機関名称																
事業対象		メインターゲット		自転車ネットワーク路線に位置付けられた市道を徒歩で利用する市民												
		サブターゲット		自転車ネットワーク路線に位置付けられた市道を自転車で利用する市民等												
		ターゲットが抱える課題		歩行者と自転車の錯綜により安全に通行できない環境である。												
		ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		自転車ネットワーク路線に位置付けられた市道を徒歩で利用する市民及び自転車を利用する市民等が安心して安全快適に利用できている。														
事業概要		<p>枚方市自転車活用推進計画に位置付けられた枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画に基づき、歩道を走行する自転車を車道に誘導し、安全で快適な自転車の通行空間及び歩行空間の整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 計画の自転車通行空間整備延長距離の合計:L=32,600m <ul style="list-style-type: none"> <li>・北部地区:L=9,400m、中部地区:L=5,800m、東部地区:L=6,000m、南部地区:L=11,400m</li> </ul> </li> <li>◇ 実績延長距離の合計:L=3,450m <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度:2,500m、R1年度:750m、R2年度:200m</li> </ul> </li> <li>◇ 各年度における計画の自転車通行空間整備延長距離 <ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度:1,480m</li> <li>・R4年度:1,410m</li> <li>・R5年度:1,700m</li> </ul> </li> </ul>														
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
		自転車通行空間整備が進むにつれて、段階的に自転車ネットワーク路線に位置付けられた市道を徒歩で利用する市民及び自転車で利用する市民等が安心して安全快適に利用できている。				計画通りに自転車通行空間整備を進めることが出来る。				自転車通行空間整備を実施。						
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
		指標説明		自転車通行空間整備事業全体の進捗率【算出式:実績延長距離の合計/計画の自転車通行空間整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の自転車通行空間整備延長距離に対する実績延長距離の割合【算出式:実績延長距離/各年度における計画の自転車通行空間整備延長距離×100】				各年度における計画の自転車通行空間整備延長距離				
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
		指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				
		達成度		91%				68%				68%				
		分析		計画路線のうち、1路線が他工事の影響(期間延期)によりR4年度繰越工事となったため、目標値に達しなかった。				計画路線のうち、1路線が他工事の影響(期間延期)によりR4年度繰越工事となったため、目標値に達しなかった。				計画路線のうち、1路線が他工事の影響(期間延期)によりR4年度繰越工事となったため、目標値に達しなかった。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.55
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,810	6,380	4,321		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	80		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	4,810	6,380	4,401		
	物件費計	17,330	7,784	23,909	26,400	91%
	歳出計	22,140	14,164	28,310		
歳入	国庫支出金	8,600	2,000	4,700	4,700	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	6,300	5,100	3,400	18,300	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	14,900	7,100	8,100	23,000	
	一般財源	7,240	684	15,809	3,400	

5. 総括的分析

総括的分析 R3計画路線のうち、1路線が他工事の影響(期間延期)によりR4年度繰越工事となり目標値に達しなかったが、未達成度の数値分はR4年度に達成が見込まれる。  
 【実績】楠葉中央線(延長距離:L=1,000m)の整備工事に着手し完了した。  
 都)牧野長尾線(延長距離:L=480m)の整備工事はR3年度に発注したが他工事の影響によりR4年度に繰越となった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、財政状況等を勘案し、他事業との調整や連携を図りながら計画的に自転車通行空間整備事業を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	中宮区第33号線他歩道フラット化整備事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部				課	道路河川整備課			
市長公約との関係	所信表明	○		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標			1.安全で、利便性の高いまち										
	施策目標			4.安全で快適な交通環境が整うまち										
	実行計画名													

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事业		区分	一般事務事業					
事業期間	2018(H30)年度			年度	~	年度まで						
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット					
関係附属機関名称												

事業対象	メインターゲット	市道中宮区第33・34号線の歩道を徒歩で小学校に通う児童及び学生										
	サブターゲット	市道中宮区第33・34号線の歩道を徒歩で利用する市民・事業者等										
	ターゲットが抱える課題	中宮区第33・34号線の歩道の段差により通学児童をはじめとする歩行者の安全確保が必要である。										
	ターゲットが抱える課題											

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市道中宮区第33・34号線の歩道を徒歩で小学校に通う児童及び学生並びに市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。											
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	<p>子どもの安全確保に資するため通学路に加え未就学児の移動経路を含めた安全確保を図ることを目的に策定された枚方市子どもの交通安全プログラムに基づき、中宮区第33・34号線の歩行空間を確保する等の道路空間再配分事業を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 計画の道路空間再配分整備延長距離の合計:L=630m</li> <li>◇ 実績延長距離の合計:L=0m</li> <li>◇ 各年度における計画の道路空間再配分整備延長距離 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1期工事:L=180m(未定)</li> <li>第2期工事:L=260m(未定)</li> <li>第3期工事:L=190m(未定)</li> </ul> </li> </ul>											
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	道路空間再配分整備が進むにつれて、段階的に歩道を徒歩で小学校に通う児童及び学生並びに市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				アウトプット(活動結果)	計画通りに道路空間再配分整備を進めることが出来る。				インプット(活動)	道路空間再配分整備を実施。			
	指標説明	道路空間再配分整備事業全体の進捗率【算出式:実績延長距離の合計/計画の道路空間再配分整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の道路空間再配分整備延長距離に対する実績延長距離の割合【算出式:実績延長距離/各年度における計画の道路空間再配分整備延長距離×100】				各年度における計画の道路空間再配分整備延長距離					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	実績	0	0			0	0			0	0				
	達成度	0%				0%				0%					
分析	事業内容に応じた財源(国費)の確保が困難であったため、事業を進められなかった。				事業内容に応じた財源(国費)の確保が困難であったため、事業を進められなかった。				事業内容に応じた財源(国費)の確保が困難であったため、事業を進められなかった。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	241	0	0		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	241	0	0		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	241	0	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	241	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析 今後の事業展開について検討が必要である。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	他事業との調整や連携を図るとともに財政状況等を勘案し、事業の着手時期を検討していく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	歩道拡幅整備事業(枚方新香里線)												
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部			課	道路河川整備課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち										
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち										
	実行計画名		4-2.交通安全対策の充実										
1. 事務事業の概要													
種類	市民サービス			特性			選択的事業			区分			一般事務事業
事業期間	2020(R2)年度				年度	~	2022(R4)年度				年度まで		
根拠法令等	決裁												
関係補助金名称												サンセット	
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		市道枚方新香里線を徒歩で小学校に通う児童										
	サブターゲット		市道枚方新香里線を徒歩で利用する市民・事業者等										
	ターゲットが抱える課題		市道枚方新香里線の歩道に狭い場所があり、通学路の安全確保ができていない。										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市道枚方新香里線の歩行空間の確保により、徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安全・安心して円滑に移動することができる。												
事業概要	<p>子どもの安全確保に資するため通学路に加え未就学児の移動経路を含めた安全確保を図ることを目的に策定された枚方市子どもの交通安全プログラムに基づき、市道枚方新香里線の歩道拡幅整備事業を行い、通学路の安全確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R2年度:詳細設計</li> <li>・R3年度:用地取得予定(面積:約125㎡)</li> <li>・R4、R5年度:整備工事予定(延長:約142m)</li> </ul>												

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	歩道拡幅整備が進むにつれて、段階的に徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				計画通りに歩道拡幅整備を進めることが出来る。				歩道拡幅整備を実施。				
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	歩道拡幅整備事業全体の進捗率【算出式:実績延長距離の合計/計画の歩道拡幅整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の歩道拡幅整備延長距離に対する実績延長距離の割合【算出式:実績延長距離/各年度における計画の歩道拡幅整備延長距離×100】				各年度における計画の歩道拡幅整備延長距離				
	単位 %				単位 %				単位 m				
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	0	0	49.30	100	0	0	100	100	0	0	70	72
	達成度	0%				0%				0%			
分析	R3年度は設計業務及び地権者と用地取得協議を実施				R3年度は設計業務及び地権者と用地取得協議を実施				R3年度は設計業務及び地権者と用地取得協議を実施				
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	歩道拡幅整備が進むにつれて、段階的に徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				歩道拡幅整備に係るすべての用地を取得できる。				歩道拡幅整備に係る用地取得を実施。				
指標設定②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	歩道拡幅整備事業全体の進捗率【算出式:実績延長距離の合計/計画の歩道拡幅整備延長距離の合計×100】				歩道拡幅整備用地取得面積の合計に対する実績用地取得面積の合計の割合【算出式:実績用地取得面積の合計/歩道拡幅整備用地取得面積の合計×100】				歩道拡幅整備用地取得面積				
	単位 %				単位 %				単位 ㎡				
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	0	0	49.30	100	0	100	0		0	125	0	
	達成度	0%				100%				100%			
分析	R3年度は設計業務及び地権者と用地取得協議を実施				想定通りであった。				想定通りであった。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.37
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	5,184	2,907		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	27		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	5,184	2,934		
	物件費計	—	1,350	8,148	6,000	136%
	歳出計	—	6,534	11,082		
歳入	国庫支出金	—	1,350	2,200	2,200	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	1,600	3,400	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	1,350	3,800	5,600	
	一般財源	—	0	4,348	400	

5. 総括的分析

総括的分析 R3年度はR2年度繰越の設計業務を進めるとともに地権者と協議し道路用地を取得した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、整備工事(R4-R5債務負担)を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	高田8号線道路拡幅事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部				課	道路河川整備課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標			1.安全で、利便性の高いまち										
	施策目標			4.安全で快適な交通環境が整うまち										
	実行計画名			道路などの整備の推進										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス			特性	選択的事业			区分	一般事務事業				
事業期間	R3年度(2021年度)				年度	~	R4年度(2022年度)				年度まで		
根拠法令等	決裁												
関係補助金名称								サンセット					
関係附属機関名称													

事業対象	メインターゲット	枚方市道高田8号線周辺道路を利用する者										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	枚方市道高田8号線を拡幅整備しないと交野市施行の(都)星田駅前線が接続する府道枚方交野寝屋川線の交差点部に信号機が設置されない。 <課題> ●周辺の土地区画整理事業内で建設中の物流拠点施設の開設等により往來の増加が予測される ●往來が増加すると交通環境の悪化の危険性が高まる怖れがあることから、安全性の確保のため信号機による交通コントロールが必要 ●信号機が設置されない場合は、(都)星田駅前線から府道並びに府道から(都)星田駅前線への右折ができない交差点の利用形態となり、利便性の低下や第二京阪道路一般部副道をはじめJR星田駅方面への交通アクセスの悪化が予測される										
	ターゲットが抱える課題											

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態) 枚方市道高田8号線を拡幅し、府道枚方交野寝屋川線との交差点部に信号機が設置されることで利用者などの安全性の確保と利便性の向上に加え、第二京阪道路一般部副道をはじめJR星田駅方面への円滑な交通アクセスを形成できている。

事業概要 本事業は主に交野市域内で施行中の土地区画整理事業と交野市施行の(都)星田駅前線の道路整備事業に関連した枚方市道高田8号線の道路拡幅を行う。  
このなかで、本市が交野市施行の道路整備事業と連携して枚方市道高田8号線の道路拡幅を整備することで、府道枚方交野寝屋川線との交差点部に信号機が設置され、利用者などの安全性の確保と利便性の向上に加え、第二京阪道路一般部副道をはじめJR星田駅方面への円滑な交通アクセスなど更なる交通環境の確保を図るものである。

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		高田8号線の整備が進むにつれて、府道枚方交野寝屋川線との交差点部に信号機が設置され、安全性の確保と利便性の向上に加え、第二京阪道路一般部副道をはじめJR星田駅方面への円滑な交通アクセスが形成できている。				計画通りに高田8号線の整備を進めることで交差点に信号機が設置される。				高田8号線の整備を実施する。			
指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		高田8号線整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の高田8号線整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の高田8号線整備延長距離に対する実績整備延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画の高田8号線整備延長距離×100】				各年度における計画の高田8号線整備延長距離			
		単位		%		単位		%		単位		m	
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	-	0	100	-	-	0	100	-	-	0	30	-
達成度		0%				0%				0%			
分析		R3年度は地権者と用地取得協議・設計を実施				R3年度は地権者と用地取得協議・設計を実施				R3年度は地権者と用地取得協議・設計を実施			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		高田8号線の整備が進むにつれて、府道枚方交野寝屋川線との交差点部に信号機が設置され、安全性の確保と利便性の向上に加え、第二京阪道路一般部副道をはじめJR星田駅方面への円滑な交通アクセスが形成できている。				拡幅整備に係るすべての用地を取得できる。				拡幅整備に係る用地取得を実施。			
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定②	指標説明	高田8号線整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の高田8号線整備延長距離の合計×100】				拡幅整備用地取得面積の合計に対する実績用地取得面積の割合 【算出式:実績用地取得面積の合計/拡幅整備用地取得面積の合計×100】				拡幅整備用地取得面積			
		単位		%		単位		%		単位		㎡	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	0	100	—	-	0	100	—	-	0	100	—
	実績	-	0			-	0			-	0		
達成度	0%				0%				0%				
分析	R3年度は地権者と用地取得協議・設計を実施				R3年度は地権者と用地取得協議・設計を実施				R3年度は地権者と用地取得協議・設計を実施				

### 3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.02
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

### 4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費			3,929		
	正職員、再任用、任期付	-	-			
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	53		
	特別職非常勤	-	-	0		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	3,982		
	物件費計	-	-	0	0	-
	歳出計	-	-	3,982		
歳入	国庫支出金	-	-	0	0	
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	0	0	
	市債	-	-	0	0	
	その他	-	-	0	0	
	歳入計	-	-	0	0	
	一般財源	-	-	0	0	

### 5. 総括的分析

総括的分析 R3年度は地権者と用地取得協議を行いながら設計業務を実施した。

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、地権者と調整・協議し道路用地を取得するとともに整備工事を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	道路河川整備課運営事務											
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外									
	施策目標		99.施策体系外									
	実行計画名											
1. 事務事業の概要												
種類	内部管理				特性	庶務的事務			区分	庶務的内部管理事務		
事業期間	不明				年度	~				年度まで		
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称								サンセット			-	
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		課職員									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	他部署との連絡調整、課内での情報の共有化を行い適正かつ迅速に業務を行う。											
事業概要	行政評価及び事業計画等に関する事務 ・庁内外への照会・回答処理事務 ・財務会計事務 等											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)												
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.64
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.02
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,886	4,067	5,028		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	257	53		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,886	4,324	5,081		
	物件費計	0	310,523	11,489	11,951	96%
	歳出計	2,886	314,847	16,570		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	2,886	310,523	11,489	11,951	

5. 総括的分析

総括的分析	他部署との連絡調整及び課内での情報の共有化を行い適正かつ迅速に業務を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適正かつ迅速に業務を行っていく。